株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。
2025年３月期第１四半期決算短信、プレスリリースなど、当社の近況をご報告させていただきます。
株主の皆様には今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

① 2025年3月期第1四半期 業績ご報告

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済の景気は、社会経済活動の正常化による個人消費の回復やインバウンド需要の後押しもあり、緩やかに回復しています。しかしながら、地政学的リスクの高まりによる燃料価格や原材料価格の上昇、それを受けての物価の上昇が今後も継続すると予想されます。

このような経済状況のもとで、当社はこれまで、「ヘルスケア事業」「カプセル受託事業」「その他」の３つのセグメントで開示を行ってまいりましたが、顧客グループの特性やニーズに合わせた戦略立案、リソース配分の最適化、効果的アプローチによる企業価値の向上を目的に、当第１四半期連結会計期間より「コンシューマー事業」(to C)「ソリューション事業」(to B)「その他」の３つのセグメントに変更をしております。

当社グループは、コンシューマー事業におきましては、ナショナルブランド品の「ビフィーナ®」を主軸とし、国内販売が堅調に推移しております。「ビフィーナ®」については、整腸効果をもつビフィズス菌を配合した機能志向食品分野において、27年連続売上No.1を獲得し、今年は発売から30周年の節目を迎えました。

当社は、2024年２月より「仁丹」のリブランディングに取り組んでおります。当社の技術力や品質、真心や熱意、挑戦心が詰まった“モノづくりの魂の原点”であり、社名の一部でもある「仁丹」をより身近に感じていただくため、「巨大ガチャイベント」、「＃タイムスリップ仁丹タクシー」と幅広い世代の方々とコミュニケーションをとるべく企画を実施いたしました。今後も引き続き、ステークホルダーの皆様とのリレーションを高めてまいります。

ソリューション事業におきましては、可食分野のジェネリック医薬品および機能性素材の販売と、非可食分野の化粧品用シームレスカプセルの販売が引き続き堅調に推移しております。また、2022年に発表した腸内の特定部位で崩壊するカプセル製剤技術（大腸送達性製剤）の研究・開発を継続しており、製品化に向け、ターゲットとなるマーケットについても選定してまいります。2024年４月には、健康食品の原料供給・受託加工のビジネス見本市である「健食原料・OEM展2024」に出展し、機能性素材の紹介および「シームレスカプセル」の多様性と汎用性について情報発信しました。今後も、高付加価値シームレスカプセルの開発・製造、オープンイノベーションによるパートナーとの共創を推進してまいります。また、そこで得られた知見を新たなシームレスカプセル技術開発に応用するサイクルを構築して、社会へシームレスカプセル技術を通じたソリューションの提供を続けてまいります。

この結果、当第１四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,413百万円（前年同四半期比9.7％増）、営業利益316百万円（前年同四半期比14.7％減）、経常利益328百万円（前年同四半期比15.1％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益245百万円（前年同四半期比12.3％減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① コンシューマー事業

コンシューマー事業は、ナショナルブランドを強化し、グローバルな視点で戦略を見直すことで収益性の見直しを推進しております。当セグメントにおきましては、「ビフィーナ®」を主軸とし、国内販売が堅調に推移しておりますが、一部のアジア地域では減収となりました。

当セグメントにおきましては、売上高は、1,210百万円（前年同四半期比9.7％減）、セグメント利益は、7百万円（前年同四半期比93.7％減）となりました。

② ソリューション事業

ソリューション事業は、当社事業のシームレスカプセル技術や機能性素材を活かすことで、顧客の課題解決を実現しております。当セグメントにおきましては、ジェネリック医薬品および機能性素材の販売が前年同四半期と比べ増収となりました。今後もパートナー企業やアカデミアとの共同研究により、シームレスカプセルや機能性素材を用いた社会課題解決への取り組みを展開してまいります。

当セグメントにおきましては、売上高は、2,200百万円（前年同四半期比24.4％増）、セグメント利益は、307百万円（前年同四半期比19.4％増）となりました。

③ その他

当セグメントにおきましては、売上高は、１百万円（前年同四半期比1.0％増）、セグメント利益は、１百万円（前年同四半期比1.0％増）となりました。

（百万円未満切捨て）

2025年３月期第１四半期の連結業績（2024年４月１日～2024年６月30日）

連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	3,413	9.7	316	△14.7	328	△15.1	245	△12.3
2024年3月期第1四半期	3,111	15.6	371	99.6	387	93.5	279	79.0

（注）包括利益　2025年３月期第１四半期　508百万円（△20.0％）　2024年３月期第１四半期　636百万円（261.5％）

（2024年８月８日公表）

2025年３月期の連結業績予想（2024年４月１日～2025年３月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	6,400	1.7	500	△19.6	520	△19.4	400	△15.6	97.93
通期	12,700	2.4	850	18.7	900	10.3	700	0.4	171.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（2024年８月８日公表）

② 森下仁丹 初主催イベント「おいでよ！多賀フェス！多賀の未来を盛り上げよう！」を開催

7月14日に滋賀県犬上郡多賀町で「おいでよ！多賀フェス！多賀の未来を盛り上げよう！」を初めて開催しました。

滋賀県多賀町は、豊かな森林等の自然と深い歴史を礎に、集落単位のコミュニティで暮らしを育み、隣接する彦根市とも役割分担しつつ、住宅地・工業団地をバランスよく配置しながら発展してきました。また、自然と文化が共にある暮らしを目指し、住民の皆様が一体となり魅力のあるまちづくりに励んでいます。

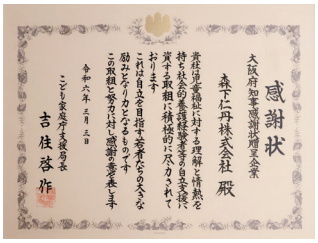
本イベントは、その地に工場を構える当社も、地域住民の皆様との交流による「コミュニケーションの活性化」により、地域全体の賑わいや活力向上に寄与できればと思い、その第一歩として開催しました。さらに、当社の健康経営の指標の一つである「社員の働きやすさ」や「パーパス」に基づき、近隣企業様との交流を行うことも開催目的としております。

なお、本イベントによって得た売上は、能登半島地震災害義援金として、日本赤十字社を通じ全額寄付いたしました。

③ 自立を後押しする「薬育」活動

当社は、社会福祉法人大阪児童福祉事業協会アフターケア事業部の活動趣旨に賛同し、2013年より「薬育」プログラムを担当しています。児童福祉施設等を卒園する児童たちを対象に健康管理に役立ててもらえるよう、薬剤師免許を持つ従業員や若手従業員が中心となり、正しい薬の飲み方や症状を伝えるロールプレイング等、講義や体験型の実験を取り入れて薬の基礎知識を伝えています。

このたび、この取り組みに対し、こども家庭庁と大阪府知事より感謝状が授与されました。


感謝状

大阪府知事 感謝状贈呈企業

森下仁丹株式会社 殿

貴社は児童福祉に対する理解と情熱を持ち社会的養護経験者等の自立支援に資する取組に積極的に尽力されております

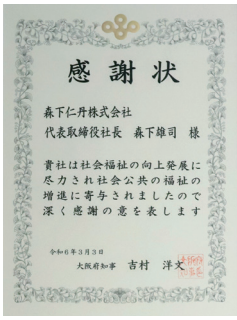
これは自立を目指す若者たちの大きな励みとなりかつ心強いものです

この取組と努力に対し感謝の意を表します

令和六年 三月 三日

こども家庭庁長官 加藤鮎子

吉住啓作


感謝状

森下仁丹株式会社
代表取締役社長　森下雄司　様

貴社は社会福祉の向上発展に尽力され社会公共の福祉の増進に寄与されましたので深く感謝の意を表します

令和6年3月3日
大阪府知事　吉村　洋文

④ 「アジアトライアスロンカップ（2024/大阪城）/大阪城トライアスロン2024」に協賛

当社は、5月26日に大阪市で開催された「アジアトライアスロンカップ（2024/大阪城）/大阪城トライアスロン2024」に協賛いたしました。

大阪城トライアスロンが掲げる『「Osaka City」を世界へ発信、大阪のこどもたちが世界を体感、地域住民がスポーツと再びつながる』という大会趣旨に賛同し、昨年に引き続き協賛いたしました。今後も持続可能な社会へ貢献するために、社会や地元大阪の皆さまとともに、CSR活動に取り組んでまいります。

大阪城トライアスロン大会提供

⑤ 伝統の承継と文化資産の保全

創業者 森下博の生誕の地、広島県福山市の鞆の浦にて、4月27日～29日・5月3日～6日の7日間にわたり開催された「鞆の浦観光鯛網」に協賛いたしました。

森下博は、1923年に開催された第1回観光鯛網を支援しました。観光鯛網は本年の開催で93回目の開催となり、鞆の浦の初夏の風物詩と呼ばれるまで成長しました。

当社とゆかりある場所との絆を一層深めながら、地域活性はもちろん、伝統の承継や文化資産の保全に貢献してまいります。

（公社）福山観光コンベンション協会提供

森下仁丹のサステナビリティ

全従業員でサステナビリティの理解を深め、実践

5月、全従業員を対象としたサステナビリティ基礎研修を実施しました。各拠点をWEB中継でつなぎ、従業員全員でサステナビリティに関する知識、考え方の習得に励みました。さらに、当社サステナビリティの牽引役としての推進力を高めるべく、経営層研修を実施し、実践に近い課題のワークやディスカッションなどに取り組みました。

また、生産部門では定期的に全体教育訓練をおこなっています。GMP(※1)やHACCP(※2)についての理解を深め、実務にいかすことで、安心・安全な製品の供給に努めています。

※1 GMP：医薬品の製造管理及び品質管理の基準
※2 HACCP：食品の衛生管理の方式